

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中 報告日 2020年2月6日

派遣決定番号

地域情報化アドバイザー制度活用報告書(3日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	北秋田市	代表者名	津谷 永光
担当者部署	総務部	連絡先電話番号	0186-62-6606
担当者役職		担当者氏名	
住所	018-3392 秋田県北秋田市花園町19番1号		
連絡先E-mail			

1-2. 推薦団体(「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	岡村 久和
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	<ul style="list-style-type: none"> 「空港の利用促進」という課題に限らず、あらゆる課題解決に向けた検討を行う際は、「課題の本質」を捉えることが最も重要であることを学ばせていただいた。 職員一人ひとりが、それぞれ課題であると考えている内容について、「果たしてそれは本当に課題なのか？」という見極めを行うために、あらゆる視点から物事を捉えるトレーニングを日頃から意識していきたいと、参加した職員全員が認識を共有できた。
アドバイザーへの要望事項	なし(3日間のアドバイザー事業を通して、物事の捉え方や考え方について学ぶことができた。今後の市の政策や業務に活かしていきたい。)

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)	活動時間(分)
3-1. 活動	2020年1月30日	11時00分	14時00分		180
3-2. 派遣場所	会場名	北秋田市役所 本庁舎		最寄駅	JR鷹ノ巣駅
	所在地	秋田県北秋田市花園町19番1号			
	最寄駅からの交通手段	徒歩10分			

4. 報告書に関するAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="radio"/> 掲載可
------	--------------------------------------

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	人数
	職員	4人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい)	①ここ数年搭乗者数が増加してきている。この状況は喜ばしいことではあるが、これに伴い年間の助成金額も増加しており、市として今後の事業財源の確保が課題。 ②昨年度、新規に開始した事業であり、2事業者から申請を頂いたものの、参加申込者数が少なく旅行催行に至らず、補助金交付実績は無しであった。 ③その他、航空貨物取扱量の増加を含め、空港を拠点に地域を活性化させたい。	
支援により目指す成果(具体的にご記入下さい)	<目標1>「地元にある空港を残したい」「地元にある空港を利用しよう」という市民意識を醸成する。 <目標2>市内外の多くの方に利用してもらう。(目標年間搭乗者数:17万人)	
アドバイザーに支援を受けた内容(具体的にご記入下さい)	<ul style="list-style-type: none"> 「空港の利用促進」に限らず、職員がそれぞれ「課題」と認識している事項を列挙する作業を行った。その後、挙げられたそれぞれの「課題」に対する「解決策」を「自由な発想」で提案するという作業を行った。 この作業を通して、「課題の本質」を捉えることの重要性を学ぶことができた。 	
支援を受け改善又は解決された内容(具体的にご記入下さい)	<ul style="list-style-type: none"> 「空港の利用促進」という課題については、単なる「搭乗者数」や「観光客数」「ビジネス客数」の増加だけでなく、北秋田市民を含む、空港圏域に暮らす住民一人ひとりにとって、「空港が近くにあって良かった」「私達の地域にある空港を大切にしたい」という意識を醸成していくことが重要であることに気づくことができた。 	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	<input checked="" type="checkbox"/> 組織業務改善ができた
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容(具体的にご記入ください)	<ul style="list-style-type: none"> 今回のアドバイザー事業を通じ、「空港の利用促進」に限らず、どんな政策や業務においても「課題の本質」を捉えることの重要性を学んだが、今後は「課題の本質」を捉えてから、その課題解決に向けた取り組みの方法を具体的に検討していかなければならない。 「空港の利用促進」という課題に関しては、「地域住民の利用」「観光客の利用」「ビジネス客の利用」「航空貨物の増加」など、同じ「空港」に関する課題ではあってもそれぞれ解決策を探っていく必要がある。 	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 なし	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	<input checked="" type="checkbox"/> 現段階では課題・問題が残っているため未定
事業の最終的な目指す姿	<ul style="list-style-type: none"> 「空港の利用促進」に向け、安定した搭乗者数及び航空貨物量の確保。 地域に暮らす住民一人ひとりの「空港が近くにあって良かった」「私達の地域にある空港を大切にしたい」という意識の醸成。 	

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

